2022年（令和4年）9月1日　第415号

とよのかんぽー

発行所
長野市立豊野公民館
長野市豊野町豊野612-8
電　話　257-5875
発行人　渋澤二郎
印刷所　㈱信光社

豊野町の世帯と人口（2022年８月１日現在）　3,700世帯　人口9,212人（男4,518人　女4,694人）

＝出会いを大切に＝
令和４年度 豊野町成人式

令和４年度豊野町成人式が、新型コロナウイルスの感染防止対策を徹底する中、８月15日（月）、豊野公民館で開催されました。

式典には、新成人58人が出席し、成人式実行委員会の塚田雅敏委員長が、三つの思いとして、「今日まで育ててくれた両親に感謝」「人生設計を立てること」「出会いを大切にすること」について式辞を述べました。

塚田委員長の式辞

続いて、新成人を代表して牧島幸佑さんが誓いのことばを述べました。

祝辞は、荻原長野市長からのビデオメッセージ、地元市議会議員代表青木敏明議員、卒業時担任代表山下辰也先生からそれぞれいただき、田中美羽さんのお礼のことばで厳粛な内にすべての日程が終了しました。

式典に臨む新成人

久しぶりの再会

新成人は、恩師や同級生との久しぶりの再会に、笑顔で会話も弾んでいました。

なお、当日は、新型コロナウイルス感染予防の観点から、式典と記念撮影のみとした上、来賓の人数も絞り、開催時間は、記念撮影を含め１時間ほどでした。

仲良く記念撮影

豊野の風

最近の長野県・長野市での総合型地域スポーツクラブの会合では、議題として「中学校における部活動の在り方」が取り上げられています。

内容は、文部科学省からの教職員の働き方改革に関する提案です。

時間外での部活動を廃止し、定刻に帰宅出来る環境を整え、経費の圧縮を図ることが目的です。

豊野地区では、代わる部活動の受け皿として、現在も社会体育として連携している「ゆたかのスポーツクラブ」の名前が上がっています。

そして、今までに何回か豊野中学校の先生方及び部活動関係者との話し合いがもたれていますが、詳細についてはこれからです。

個人的な希望として、対象の中学生が、私達が過去過ごしてきた様に、好きな部活動を自由に選択し、これからも無償で、思いっきり活動出来る環境を実現していきたいと思っています。（H）

がんばろう豊野！

豊野町に届け!!「希望」と「元気」

豊野復興花火大会を開催

夏の恒例行事である豊野納涼大煙火大会に変えて、昨年度から2回目の開催となる「豊野復興花火大会」を開催しました。

令和元年に発生した台風19号災害からの早期復興と全国的に大きな影響を及ぼしている新型コロナウイルスの一日も早い収束、そして、地域経済の回復を祈願し、「ともに頑張ろう！」「コロナに打ち勝とう！」の想いを込めて花火を打ち上げました。

全国的な新型コロナウイルスの感染拡大などにより豊野町でも大きな影響を受けている状況の中、多くの企業・団体、町内外の住民の皆様からご支援とご協力をいただいたことに深く感謝申し上げます。

皆様のご支援とご協力により、豊野町の復興に向け夏の夜のひと時、夜空を彩る大輪の花火で豊野町に「希望」と「元気」を届けることができたことに大きな喜びを感じております。誠にありがとうございました。

（長野市商工会豊野支部）

成人式　誓いのことば

新成人代表　牧島 幸佑さん

本日は私達新成人のために、このような式典を挙行していただきましたこと、心より御礼申し上げます。

今日こうして成人式を迎えられたのは両親や家族、先生方、友人たち、また数え上げればきりがないくらい、たくさんの方々の支えによるものだと心から感謝しております。

20年前、私はこの豊野町で生まれました。自然に囲まれたこの土地でさまざまな発見や経験をしてここまで成長することが出来ました。時には優しく、時には厳しく教え導いてくれた両親や先生たちには本当に感謝しています。

最近は、地域の人間関係が希薄になっていると聞きますが、私たちの生まれ育った豊野町は、通学時すれ違う人たちにあいさつをすると、笑顔であいさつを返してくれる人ばかりです。

つくづく温かい人たちに守られて育ってきたのだなと感じます。そんな日々が今では懐かしく思い出されます。

私は現在、東京の大学で主に理学や教育学について学び、日々研究しています。

この私が通っている大学では日本の教育の最先端として機能しており、今日の日本における教育の課題と直に向かい合うことができています。

その中で、私はこれまでお世話になってきた先生方やこれから教師を志す人たちの手助けとなれるような人間を目指していきます。

僕たちの学び舎である、豊野中学校にもいつか恩返しがしたいと思うのです。

今日から晴れて大人の仲間入りをしますが、まだまだ未熟な私達です。どうかこれからも温かい目でご指導ご鞭撻をいただきますようお願い申し上げます。

簡単ではございますが、以上で新成人代表の挨拶とさせていただきます。本日はありがとうございました。

誓いのことばを述べる牧島さん

【会場でのスナップ写真】

カメラに向かって笑顔でポーズ

講座報告

■育ってね！野菜＋ちょっと花

7月12日（火）8月9日（火）
講　師　山本宗輝さん

野菜づくりを中心に夏野菜の収穫時期や秋から冬、来春野菜の種まき・土づくりの準備・植え付けについて学びました。

土づくりについて説明する山本先生

■歌と健康セミナー

7月7日（木）21日（木）
講　師　上村まり子さん
伴　奏　服部秀子さん

全2回の講座で、上村さんの軽妙なトークを交えた歌唱指導により、楽しく歌うことで健康づくりのための日々の生活に「有酸素運動」「筋トレ」を取り入れる大切さを学びました。

また、参加者同士の親睦を深めました。

身振り手振りで熱心に指導する上村先生（右）

■苔玉づくり

7月26日（火）
講　師　山中和江さん

初めての方でも簡単で手軽に管理のできる苔玉づくり。どんな感じにできるか期待が膨らみ、先生に指導を受けながら、思いどおりの作品ができ満足な様子でした。

自分で材料を購入し、また挑戦したいという方もいました。

思いどおりの作品が完成

■植物・昆虫観察隊

7月29日（金）
講　師　渡辺隆一さん

りんごの丘公園を訪れ、親子で地元の渡辺さんから、植物、昆虫、風景、歴史などについて学びました。

渡辺先生（中央）の話を熱心に聞く参加者

今後の主な講座（予定）

■健康フライデー

9月16日（金）～毎月1回

4月から毎月第3金曜日に開催している講座です。途中回からでも参加できます。

■いきいき終活セミナー

10月14日（金）20日（木）
講　師　石橋大輔さん

自分の今後の人生を豊かにするための準備について学びます。

■ゆたかの音楽祭

11月17日（木）
講　師　島津和平さん
　　成田ゆかりさん

テノール独唱を聞くとともに、合唱指導を受けます。

■とよのむかしばなしでぶらマップ（七）

11月中旬
協　力　浅野区
　　（あい）²倶等部
　　とよの福向チーム
　　集楽元快

今回はシリーズ第七弾。浅野地区を巡ります。

■ピアノコンサート

11月30日（水）
講　師　中川真由美さん

今年もプロの演奏を肌で感じ、満ち足りた楽しい時間を過ごしましょう。

■お正月かざり

12月6日（火）
講　師　おあしすの会の皆さん

アーティフィシャルフラワーを使ってみんなで楽しく作りましょう。

■ミニ門松づくり

12月中旬
講　師　平井正一郎さん

お手製の正月用ミニ門松を作って新春を迎えませんか。親子での参加も大歓迎です。

■花の春

12月23日（金）
講　師　橋本博重さん

新春を迎えるにふさわしい色とりどりのフラワーアレンジメントを作りましょう。

大倉公民館
ボッチャ大会開催

大倉公民館では、７月10日（日）、豊野東小学校体育館においてボッチャ大会を開催しました。

当日は、大倉区民の皆さん15チーム約１００名参加のもと、予選３リーグ、30ゲームを行い、各リーグ１位チームによる決勝リーグが行われました。

園児から年配の方まで、最初はルールに戸惑っている様子も見受けられましたが、慣れてきた頃には、戦術を考えながらゲームに臨むチームも出てきて、熱戦が繰り広げられました。

熱戦が繰り広げられた大会

災害・コロナ禍、公民館活動が思うに任せない中、受付での新型コロナ対策、競技での全員ゴム手袋着用と万全を期しての開催で、準備段階から詳細な打合せを行い、無事に終了することができました。

そして何より、たくさん楽しんでいただきました。

なお、当日は、ゆたかのスポーツクラブの４名の皆さんに、ルール説明、審判など全面的にバックアップしていただきました。

＊ゆたかのスポーツクラブから

ゆたかのスポーツクラブでは、昨年度住民自治協議会に購入していただいたボッチャ用具等の管理・貸し出しを行っています。

地域公民館等で大会など開催計画がある場合は、用具の貸出、審判等の派遣、実施における計画等ご協力いたしますので、気軽にお声がけください。

新刊図書のご案内

本年度になって入った新刊図書を紹介します。

■小説

彼女が知らない隣人たち　あさの　あつこ
大人の流儀　11　伊集院　静
ついでにジェントルメン　柚木　麻子
二重らせんのスイッチ　辻堂　ゆめ
逆転のアリバイ　香納　諒一
海蝶　２　吉川　英梨
よろずを引くもの　西條　奈加
駆ける　２　稲田　幸久
奔流の海　伊岡　瞬
タイムマシンに乗れないぼくたち　寺地はるな
奇跡　林　真理子
繭の季節が始まる　福田　和代
パラレル・フィクショナル　西澤　保彦
夏の体温　瀬尾まいこ
マスカレードゲーム　東野　圭吾
月曜日は水玉の犬　恩田　陸
カムカムマリコ　林　真理子

■一般

食べて元気になる55歳からのｏｎｅチンおかず　武蔵　裕子
藤井恵の「からだが整う」おかゆ　藤井　恵

■絵本・児童書

もっとすごすぎる天気の図鑑　荒木健太郎
ぼくがおこるとおこること　塚本やすし
すしぞくかん　さかなのおにいさん　かわちゃん
つんつんぱん！　はるの　まい
あかちゃんといっしょ　えがしら　みちこ
たんぽぽのちいさいたねこちゃん　なかや　みわ

★リクエスト・予約申し込みもあります。お気軽に公民館までお申込みください。

豊野中学校生徒職場体験学習で公民館へ

７月６日（水）、７日（木）の２日間、豊野中学校２年生の生徒２人が、公民館で職場体験学習を行いました。

これは、中学校の進路学習の一環として、豊野地区内の事業所などに生徒が出かけ、その職業を体験するという取り組みです。

２人の生徒は、公民館主催講座の開催準備や図書の整理、館内の消毒、公民館正面玄関付近の草取りなどを行いました。また、公民館利用団体の活動にも体験参加しました。２人にとっては、貴重な体験になったことと思います。

ロビーにある図書コーナーの整理を行う生徒

溶け込む
～地域って愉しい～

豊野中学校長　高橋　宏和

7月6日・7日に、総合的な学習の時間を使って、「地域に溶け込む」活動の一環として、各学年で次のような取り組みを行いました。

☆一学年
「未来へ伝えたい　豊野の記憶」

地域探求学習の一環として、「未来へ残したい豊野の風景」をテーマに、各自が端末を使って撮影してきた風景を絵にしました。

両日とも豊彩会（スケッチの会）の方々をお招きして、アドバイスをいただきながら制作を進めました。

絵を描いていく中で大切にしている気持をお聞きしたり、絵を描き進めるにあたりよい表現方法を教えていただいたりしながら取り組みました。

後日、別の会で地域の方に制作した絵をお見せしたところ、いつも見ている風景だったり、ご自分のお宅が描かれていたりして、とても感激されている姿がありました。

豊彩会の方の指導

☆二学年
「職場体験学習」

コロナ禍ではありましたが、近隣の企業様にご理解をいただき、今年度は職場体験学習を実施することができました。

生徒たちは、実際の職場で汗を流し働くことにより、働くことの尊さを肌で感じ取り、自分の将来について見つめなおすことができたのではないでしょうか。

２日間の職場体験学習を終えた生徒たちの表情はとてもよく、充実した２日間を送ることができたと感じました。

また、受け入れていただいた企業様からも、お褒めの言葉をいただき大変うれしく思っております。

今回の体験学習から学んだことが、これからの生活すべてに生かされていくことを望んでいます。

そして、この状況下で生徒たちを受け入れてくださった企業の皆様に感謝申し上げたいと思います。

職場体験での作業

☆三学年
「ボランティア活動」

シルバーハウスレインボー様、豊野こぶし作業所様、介護老人保健施設ゆたかの様、豊野清風園様、水内荘様、特別養護老人ホーム泉平ハイツ様と交流活動をさせていただきました。

実際に訪問させていただき、ゲーム等で交流するグループやＺＯＯＭで交流するグループ、七夕の飾りつけをするグループなどそれぞれ工夫した活動内容でした。

「施設の方、利用者の方に喜んでいただけるためにどんなことができるか」を一番に考え、準備を重ねたことは、生徒にとって大変有意義な時間となりました。

利用者の方も久しぶりの中学生の交流を大変喜んでくださいました。

コロナ禍の中、なかなか交流できない状況ですが、地域の一員として、地域の中学校として、地域の宝の一部をいただきながら、地域の皆様に元気を与えられる豊野中学校でありたいと思っています。

今後も、生徒会の企画やとよのギャラリーでさらなる交流ができたらと思っております。

施設利用者の方との交流

長野市 豊野支所から

地域おこし協力隊の活動

古畠　和昌

昨年９月１日から、豊野地区で地域おこし協力隊として活動している古畠です。

私は長野市篠ノ井の出身で、祖父がりんご農家だったので、農業に関わる仕事に昔から興味を持っていました。また、前職のＩＴ関連企業で、海外生活をしていた時に、日本の農産物は安全性や品質面で非常に高く評価されていて、より農業を始めたいと考えるようになりました。縁があって「りんご」と「ぶどう」の栽培が盛んなこの豊野地区で一流の農業の技術を学べる事を知り、是非豊野で働きたいと応募致しました。

現在の活動は、ベテランの専業農家２軒の下で、りんごとぶどう農業を修行しています。私自身農業はおろか植物を育てる事すら殆どなかった素人です。経験に裏付けされた知識を実際の農作業を通して学び、様々な新しい発見がありました。

ぶどうのジベレリン処理

特に凄いと感じたことは、目配りと気配りです。畑の様子をしっかり観察されていて、些細な変化にも気づき、病気や病害虫の繁殖などの大きなトラブルを未然に防ぐよう枝を切る、薬を塗る等の適切な対処をされます。私はまだこの技術が不足しているので、意識して培っていきたいと思います。

時に厳しく指導され、時に「ありがとう」の言葉を頂き、自然とともに生きる知恵を学ぶ経験は、私にとっては温かさを感じ、貴重でやりがいを感じています。

担い手不足と言われる農業ですが、約１年間の農作業を通じて、作物を作るための深い知識と技術、何よりも楽しさを知ることができました。

今後は伝統の農業と、スマート農業など若い方が興味を持ちそうなテーマを取り入れつつ、インターネット等を通じて発信し、都会の人たちに豊野ブランドを知ってもらえるような活動をしていきたいと考えています。個人的には、ＩＴ業界の好奇心旺盛な方こそ、農業も支えていってもらいたいと考えています。

私事ですが、趣味は写真で、豊野にはつつじ山や北信五岳道路（広域農道）から見える北信五岳、三念沢の蛍など地元ならではのスポットが多く、撮影がはかどります。

この他にも、冬は北信のあらゆるスキー場を選択できる程に交通の便が良い点や地域の皆さんが活発で元気な点など豊野には沢山の魅力を感じています。

これからも豊野の魅力を伝えていきたいです。

しなの鉄道軽井沢駅での豊野地区ＰＲ

7月1日号で紹介したミニ花壇の続報

ミニ花壇に咲き誇る花々

カラーでお見せすることができず残念ですが、右の写真のとおり、何種類もの花が大きく育ち、色とりどりに咲き誇っています。暑い日が続きますが、次々と咲く花から元気をもらっています。

公民館周辺の草刈りをしていただきました

６月に、地区内にお住まいの方が何回かに分けて、公民館周辺の草刈りをしてくださいました。お話をお聞きすると、中学生のお孫さんを迎えに来て、少し時間があったので刈ってくださったとのことでした。感謝です。

編集後記

６月はコロナ感染者数が大幅に減少したと思いきや、８月には過去最多の感染者数を記録、各組織もコロナ前の活動に戻す準備をしていましたが、再考せざるを得ない状況になっています。何とか、終息とまではいかずとも、収束の気配が見えれば、コロナ前の公民館活動が何時でも出来るよう準備をしておきたいと思います。

それにしても、新型コロナの拡大により、「禍」と「下」、「終息」と「収束」仮名遣いの勉強をさせてもらいました。（Ｋ）